

請願番号	13	受理年月日	元 . 12 . 3
件名	神奈川県議会「政務活動費の指針」に政務活動と他の活動が混在する場合のあん分率の基準と上限を決め、按分方法（例）として私的活動を含めた合理的な目安を例示することを求める請願		
請願者		紹介議員	
※請願者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		君嶋 ちか子 大山 奈々子 石田 和子 上野 たつや	
<p>1 請願の要旨</p> <p>指針のP3のⅢの2「政務活動と他の活動が混在する場合の按分指針」に記載してある按分方法（例）を私的活動を含めた幾つかの具体的事例に分けて、判り易い<sup>わか</sup>あん分の<sup>やす</sup>目安と上限を示した按分方法（例）に改める。</p> <p>2 請願の理由</p> <p>現行のあん分は会派及び議員の活動実態から自己申告したものであり、議員の主観に左右されやすく、客観性に欠ける。私的活動が混在する場面がありうるが、現行の「政務活動費の指針」のあん分方法の例には私的活動が含まれておらず参考にならない。</p> <p>また、事務所のなかには政務活動費を充当していない事務所や後援会と共有している事務所もあるが、使用実態が不明で光熱費のあん分率が議員の主観に委ねられており、客観性に欠ける。</p> <p>さらに、交通費の車両リース代のあん分率では、混在する活動の利用割合や理由が不明で、議員の使用実感だけで判断するのは客観性に欠けるものであり、タクシー代やガソリン代についても私的活動が含まれている場合があり、あん分率を判断した理由や根拠が明記されておらず妥当性が確認できない。</p> <p>以上の理由から、「指針」を見直し、私的活動を含めて客観的で分かりやすいあん分の目安と上限を示してほしい。</p>			